

[理学療法学専攻部門]

【著書】

- 石倉 隆：ケーススタディの書き方，臨床実習とケーススタディ．58 - 74，医学書院，2011.3.
- 佐藤秀紀：高齢者・障害者のための福祉用具活用の実務，「ワニワニパニック RT を楽しむことで，軽度認知症女性の立位バランスの向上を図り，転倒予防を目指す」，2162-2165，第一法規出版，2010.10.
- 境 隆弘（分担執筆）：シンプル理学療法学シリーズ 運動療法学テキスト，11章．実習3．運動療法による筋力の維持と増強，112-121，南江堂，2010.11.
- 境 隆弘（分担執筆）：実践 PT ノート運動器傷害の理学療法．三輪書店，2011.3.
- 野村卓生（分担執筆）鶴見隆正・他編：標準理学療法学 臨床実習とケーススタディ 第2版糖尿病．pp277-282，医学書院，2011.
- 野村卓生，中尾聡志（分担執筆），奈良 勲 監：歩行を診る観察から始める理学療法実践，代謝疾患，pp323-330，文光堂，2011.
- 佐藤睦美：NHK きょうの健康大百科．首の痛みを解消しよう．208，NHK 出版，2010.4.
- 佐藤睦美（分担執筆）：実践 PT ノート．三輪書店，2011.3

【原著論文】

- 石倉 隆：SIAS，FIM 認知項目と頭部 CT から脳卒中の ADL 予後を予測する；脳卒中 ADL 予後評価セット（SAPAS）作成のための pilot study．保健医療学雑誌，1(1)，10 - 17，2010.
- Ishikura T，Takahashi M：Fall-predictive factors and calculation of probability of falls based on ‘Assessment Score Sheet of Falls’．Journal of Allied Health Sciences，1(1)，18-22，2010. 4.
- Takahashi M，Ishikura T：ADL ability required of home care patients – Evaluation based on the Barthel Index．Journal of Allied Health Sciences，1(1)，23-26，2010. 4.
- 佐々木賢太郎，小島 聖，神谷晃男，石倉 隆：若年健常者における呼吸機能と頸部屈曲筋力の関連性．保健医療学雑誌，1(2)，48 - 52，2010.
- Ishikura T，Wataki T，Hara S，Nara H，Hasegawa K：The prognosis of stroke patients regarding ADL based on the SIAS and FIMC Preparation of the “Stroke ADL Prognostic Assessment Set (SAPAS)”．Journal of Allied Health Sciences，1(2)，18-22，2010. 10.
- 佐々木賢太郎，木村 剛，小島 聖，石倉 隆：ファンクショナル・リーチ動作における矢状面上の腰椎・下肢関節角度変化と足圧中心の前後変位．保健医療学雑誌，

2(1), 20 - 24, 2011.

- 野村卓生, 明崎禎輝, 石倉 隆 : 心疾患を合併する脳卒中高齢患者の膝伸展筋力と片脚立位バランスに関する予備的研究. 保健医療学雑誌, 2(1), 29 - 33, 2011.
- 松村 純, 横川正美, 塩本祥子, 森健太郎, 三秋泰一, 洲崎俊男 : 端座位側方リーチ動作における再現性の検討. 理学療法科学 25(2):181-184,2010
- 正保 哲, 洲崎俊男, 出口清喜, 廣瀬 昇, 奥 壽郎, 立野勝彦 : Karvonen 法による運動負荷強度における生体反応. 理学療法科学 26(1):33-39,2011
- 藪中良彦, 近藤和泉, 園田 茂, 才藤栄一, 鶴田ゆかり, 河中真由美, 河中誉真, 川原田里美 : Evaluating the effect of intensive intervention in children with cerebral palsy using a hypothetical matched control group: a preliminary study, American Journal of Physical Medicine & Rehabilitation, Volume 90, No.2, 128-136, 2011.
- 岩本京秀, 永田幹夫, 藪中良彦 : A さんの自己導尿へのチャレンジを支援する～外部専門家 (整形外科医・PT・OT) とともに～, 大阪市立平野特別支援学校, 平成 22 年度研究紀要平野特別支援の教育第 28 号, 120-124, 2010.
- 淵岡 聡, 野村卓生, 灰方淑恵, 林 義孝 : 下肢切断者のリハビリテーションに関する理学療法教育の現状と課題. 理学療法科学, 25 (2), 233-237, 2010.
- 柏 智之, 明崎禎輝, 野村卓生, 田岡理佳子, 加藤正広, 中村久子, 佐藤 厚 : 女性勤労者における下肢浮腫改善に対する弾力性ストッキングの有用性. 理学療法科学, 25 (3), 443-446, 2010.
- 元吉 明, 明崎禎輝, 津野良一, 濱窪 隆, 福島美鈴, 谷岡博人, 野村卓生, 佐藤厚 : 地域高齢者の運動行動を促す運動プログラムの考案 安芸の元気体操の効果. 理学療法科学, 25 (5), 791-795, 2010.
- Aezaki Y, Nakata E, Nomura T, Yamasaki H, Sato A : Relationship between weight bearing rate on the paretic limb and one leg standing time of paretic limb in patients after stroke. Journal of Allied Health Sciences, 1, 60-66, 2010.
- Nomura T, Nagano K, Takato J, Ueki S, Matsuzaki Y, Yasumura S : The development of a Tai Chi exercise regimen for the prevention of conditions requiring long-term care in Japan. Arch Gerontol Geriatr, 52, e198-203, 2011.
- Fujiwara K, Asai H, Toyama H, Kunita K, Yaguchi C, Kiyota N, Tomita H, Jacobs JV, : Changes in muscle thickness of gastrocnemius and soleus associated with age and sex. Aging Clinical and Experimental Research, 22 (1) , 24-30, 2010.
- Fujiwara K, Kiyota N, Kunita K, Yasukawa M, Maeda K, Deng X : Eye movement performance and prefrontal hemodynamics during saccadic eye movements in the elderly. Journal of Physiological Anthropology, 29 (2) , 71-78, 2010.
- Fujiwara K, Kunita K, Irei M, Kiyota T, Kiyota N, Yaguchi C : Effects of picture

configuration, interval and duration of visual stimulation on visual evoked potential induced by shutter-goggle visual stimulator. Health and Behavior Sciences, 8 (2) , 43-49, 2010.

- Kiyota N, Fujiwara K : Effects of anti-saccade training with neck flexion on eye movement performance, presaccadic potentials and prefrontal hemodynamics in the elderly. European Journal of Applied Physiology, 110 (6) , 1143-1154, 2010.
- Fujiwara K, Asai H, Kiyota N, Mammadova A : Relationship between quiet standing position and perceptibility of standing position in the anteroposterior direction. Journal of Physiological Anthropology, 29 (6) ,197-203, 2010.
- Fujiwara K, Kiyota N, Maeda K : Contingent negative variation and activation of postural preparation before postural perturbation by backward floor translation at different initial standing positions. Neuroscience Letters, 490 (2) , 135-139, 2010.
- Lu Z, Fujiwara K, Kiyota N : Effects of difficulty in voluntary postural change on contingent negative variation and postural preparatory action. Health and Behavior Sciences, 9 (2) , 107-115, 2010.
- 片山睦基, 藤原勝夫, 外山 寛, 矢口智恵, 清田直恵, 清田岳臣 : 幼児における上肢屈曲運動に伴う姿勢筋の活動パターン. Health and Behavior Sciences, 8(2) ,75-80, 2010.
- 中平剛志, 沖 貞明, 小野武也, 金井秀作, 大塚 彰 : 関節固定後に最大可動域運動で生じる抵抗力とその要因の検討:ラット足関節を用いた実験的研究. 理学療法科学, 25(4),583-588,2010.08.20.
- 島 雅人, 片岡正教, 安田孝志, 川崎 純, 木村大輔, 樋口由美, 岩田 晃, 奥田邦晴, 南野博紀, 片岡愛美, 赤井友美, 上田絵美, 岡原 聡, 下野貴之 : 知的障がい者の陸上競技短距離走におけるスタートダッシュの動作解析とその有用性について. 日本障害者スポーツ学会誌 (19), 10-14, 2010.12.25.
- 木村大輔, 岩田 晃, 川崎 純, 島 雅人, 奥田邦晴 : 車いすテニス選手の肩関節可動域特性について. 日本障害者スポーツ学会誌 (19), 15-18, 2010.12.25.
- 川崎 純, 木村大輔, 片岡正教, 島 雅人, 藤本愛美, 安田孝志, 赤井友美, 上田絵美, 奥田邦晴 : 聴覚障害スキー選手の平衡機能障害が滑走動作に及ぼす影響について. 日本障害者スポーツ学会誌 (19), 19-24, 2010.12.25.

【総説】

- 藪中良彦 他 3 名 : 粗大運動能力分類システム (GMFCS) レビューー信頼性, 妥当性, 有効性一. 総合リハビリテーション. 38 巻 8 号, 779-783, 2010
- 藪中良彦 他 2 名 : ゴール設定に必要な予後予想 : 脳性麻痺. 総合リハビリテーション, 38 巻 7 号, 631-636, 2010.
- 野村卓生, 浅田史成, 中尾聡志, 上野将之 : 糖尿病に関する臨床研究の成果と今後

の課題. 理学療法, 27 (7), 878-886, 2010.

- 野村卓生, 浅田史成, 中尾聡志, 福住武陽: 第2章 患者さんの運動の問題を解決せよ. 糖尿病ケアスキルアップドリル 200, 糖尿病ケア 2010 年秋季増刊, 126-136, 2010.
- 野村卓生, 浅田史成, 中尾聡志, 福住武陽: 糖尿病患者さんの運動器障害 糖尿病×筋肉=力が落ちる. 糖尿病ケア 7 (11), 16-26, 2010.
- 野村卓生, 片田圭一: 糖尿病性最小血管症, 運動障害. 日本臨床, 68 (増9), 糖尿病性細小血管症, 590-593, 2010.
- 野村卓生, 浅田史成, 習田 龍, 久保田昌詞: 自覚症状別フィジカルアセスメント 呼吸循環系. 理学療法ジャーナル, 44, 1097-1106, 2010.
- 中尾聡志, 岡田泰助, 吉岡和哉, 野村卓生, 石田健司: 小児糖尿病とリハビリテーション. Monthly Book Medical Rehabilitation, 117, 138-144, 2010.
- 小柳磨毅, 中江徳彦, 小川卓也, 横谷佑一郎, 松尾高行, 椎木孝幸, 佐藤睦美, 木村佳記: ACL 再建術前後の運動機能評価. 関節外科, 30(1), 63-73, 2011.01.

【講演】

- 石倉 隆: 臨床診断. POST の会学術集会, 児島聖康病院, 倉敷市, 2010.5.
- 石倉 隆: 音楽療法士に期待すること. 岡山県音楽療法研究会講演会, 川崎医療福祉大学, 倉敷市, 2010.9.
- 石倉 隆: 脳卒中リハビリテーションの根拠ある ADL 予後予測と目標設定. 保健医療学学会第1回学術集会教育講演, 大阪保健医療大学, 大阪市, 2010.12.
- 石倉 隆: 脳卒中地域連携パスの現状と脳卒中 ADL 予後評価セット (SAPAS) を用いた予後予測について. 京都リハビリテーション研究会, 明治国際医療大学, 南丹市, 2011.3.
- 藪中良彦: 脳性まひを持つ児 (者) の評価をめぐって: 脳性まひの分類と評価についての動向, 第4回小児理学療法研修会 (日本理学療法士協会認定研修会), ほりで一ゆー四季の郷, 小児理学療法研究会, 2010.9.11.
- 藪中良彦: 地域保育所や小学校で肢体不自由児と関わる先生方への基礎講座 - 理学療法士の視点から - 総論と歩行 (移動) 補助具, 平成 22 年度 (社) 大阪府理学療法士会多職種向け研修会, 大阪社会福祉指導センター, (社) 大阪府理学療法士会, 2010.11.14.
- 藪中良彦: ボツリヌス毒素注射療法と理学療法, 近畿肢体不自由児通園施設連絡協議会平成 22 年度訓練部会研修会, 東大阪市立総合福祉センター, 近畿肢体不自由児通園施設連絡協議会, 2010.11.27.
- 藪中良彦: Management of children with cerebral palsy, 2nd Rehabilitation Seminar in Yangon, Myanmar, Myanmar Ministry of Health と Japan International Cooperation Agency 共催, 2010.1.8.

- 野村卓生：メッセージバナーを用いた健康増進領域への挑戦。第45回日本理学療法学会学術大会, シンポジウム: チャレンジ・健康日本 我々理学療法士は何ができるか?, 岐阜県岐阜市, 2010. 5. 27.
- 野村卓生：地域医療連携のなかで理学療法士として何を, どこまでできるか。第53回日本糖尿病学会年次学術集会, ワークショップ: 医療連携, チーム医療の中でCDEJの役割をどこまで拡大できるか 社会的地位向上を目指して, 岡山県岡山市, 2010. 5. 29.
- 野村卓生：身体機能評価結果を生活習慣病患者への運動指導にどのように活用するか? 糖尿病多発神経障害の評価の実際とその活用。日本理学療法士協会内部障害理学療法研究部会平成22年度糖尿病理学療法研修会(大阪), 教育講演, 2010. 9. 5.
- 野村卓生：産業理学療法の実際。日本理学療法士協会生活環境支援理学療法研究部会健康増進・参加認定理学療法士必須研修会, 大阪府大阪市, 2011. 11. 13.
- 野村卓生：臨床実習とケーススタディ 糖尿病患者を学生に担当させることは適切か?, 第50回近畿理学療法学会学術大会, 教育セミナー教育管理系, 和歌山県和歌山市, 2010. 11. 21.
- 野村卓生：明日からの療養指導に生かすワザ メッセージバナー(視覚に訴えるもの)で糖尿病患者の行動を変えよ。第29回但馬糖尿病チーム医療研修会, 特別講演, 兵庫県豊岡市, 2011. 11. 27.
- 野村卓生：学際的視点からの糖尿病教育に関する研究成果とその臨床応用。滋賀医科大学医学部附属病院リハビリテーション研修会, 教育講演, 滋賀県大津市, 2011. 2. 23.
- 野村卓生：糖尿病合併症に対する理学療法の実際。日本理学療法士協会内部障害理学療法研究部会糖尿病理学療法入門セミナー(香川), 香川県宇多津町, 2011. 3. 6.
- 佐藤睦美：シンポジウム「ラケットスポーツの傷害」。ラケットスポーツの傷害とアスレチックリハ。第16回スポーツ傷害フォーラム, グランキューブ大阪, 大阪市, 2011.1.

【報告】

- 大槻桂右, 石倉 隆:凍結肩に対する肩関節の臨床解剖学に基づく運動療法の試み。理学療法科学, 25(4), 493 - 497, 2010.
- 大槻桂右, 石倉 隆：パーキンソン病患者に対する起立板を用いた下腿三頭筋の伸長が身体パフォーマンスに与える影響—シングルケースデザインによる検討。理学療法科学, 25(4), 561 - 565, 2010.
- 中尾聡志, 上野将之, 野村卓生, 池田幸雄, 末廣 正, 公文義雄, 杉浦哲郎：神経筋電気刺激が糖代謝に及ぼす影響 骨格筋電気刺激後の血糖値上昇抑制効果の検討。理学療法科学, 37 (2), 116-117, 2010.

- 野村卓生, 佐藤 厚:メッセージバナーを用いた健康増進領域への挑戦理学療法学, 37 (8), 529-532, 2010.
- 野村卓生:産業理学療法を日本で発展させたい. 日本産業衛生学会近畿地方会ニュース, 81, 2010
- 西村 敦, 松崎瑛明, 島 雅人他:摂食嚥下介助の有効性と安全確保の指針 医福祉現場の人材育成にeラーニングの応用.平成22年度産学連携による実践型人材育成事業-専門人材の基盤的教育推進プログラム-報告書.
- 片岡正教, 奥田邦晴, 島 雅人他:障がい者陸上競技におけるハイスピードカメラを用いた動作解析の有用性-2009 アジアユースパラゲームズにおいて-. 日本障害者スポーツ学会誌 (19), 10-14, 2010.12.25.

【学会発表】

- 石倉 隆, 渡木利幸, 原宗一郎, 奈良浩之, 長谷川啓介:SIAS, FIMC から脳卒中ADL 予後を予測する脳卒中 ADL 予後評価セット (Stroke ADL Prognostic Assessment Set;SAPAS)の作成. 第45回日本理学療法学術大会, 岐阜市, 2010.5.
- 中村 文, 遠藤明良, 森本寿代, 石倉 隆:失語症患者に対する集団療法の効果—「できる挨拶」と「している挨拶」の乖離払拭. 第11回日本言語聴覚学会, 大宮市, 2010.6.
- 小川卓也, 小柳磨毅, 境 隆弘 他6名:バックワードランジの運動解析. 第37回日本臨床バイオメカニクス学会. 京都. 2010.11.2.
- 横谷 祐一郎, 小川 卓也, 境 隆弘 他7名:ACL再建膝のstar excursion balance testによる評価. 第16回スポーツ傷害フォーラム. 大阪, 2011.1.29.
- 野村卓生, 浅田史成, 伊藤健一, 岡野理江子, 良本佳代子, 瀧 秀樹, 久保田昌詞, 大橋 誠, 野村 誠:糖尿病患者に対するエクササイズガイド2006を利用した運動指導はExercise Self-efficacyの上昇と維持に有効か?第5回生活習慣病認知行動療法研究会, 京都府京都市, 2010. 5.
- 浅田史成, 野村卓生, 佐藤友則, 高野賢一郎, 坂本和志, 伊藤健一, 野村 誠, 久保田昌詞, 大橋誠:産業理学療法分野における運動指導効果の検討. 第5回生活習慣病認知行動療法研究会, 京都府京都市, 2010. 5.
- 浅田史成, 野村卓生, 米山貴子, 高野賢一郎, 坂本和志, 佐藤友則, 野村 誠, 久保田昌詞, 大橋 誠:特定保健指導に関わる専門職の運動指導 self-efficacyに関する多施設共同調査報告. 第83回日本産業衛生学会, 福井県福井市, 2010. 5.
- 浅田史成, 野村卓生, 伊藤健一, 高野賢一郎, 坂本和志, 佐藤友則, 田上光男, 久保田昌詞, 大橋 誠:男性勤労者における身体活動セルフエフィカシーと運動セルフエフィカシーの関連. 第45回日本理学療法学術大会, 岐阜県岐阜市, 2010. 5.
- 坂本和志, 浅田史成, 高野賢一郎, 佐藤友則, 川又華代, 内間康知, 仁田靖彦,

右田 寛, 野村卓生 : 理学療法士による運動指導が運動セルフエフィカシーに及ぼす効果と運動継続との関連. 第 45 回日本理学療法学会大会, 岐阜県岐阜市, 2010. 5.

- 清水康史, 滝上祐美子, 野村卓生, 伊藤健一 : 呼吸補助筋に対する経皮的電気刺激が呼吸機能に及ぼす影響と安全性に関する研究 無作為化比較対照試験. 第 59 回共済医学会, 北海道札幌市, 2011. 9.
- 青田絵里, 伊藤健一, 野村卓生, 浅田史成, 堀江 淳, 濃添建男, 奥田みゆき, 相良憲幸, 石原英樹 : 慢性呼吸器疾患患者に対する Physical Activity Scale for the Elderly 日本版を用いた身体活動量評価の有用性に関する研究. 第 20 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会, 長崎県長崎市, 2010. 9.
- 明崎禎輝, 野村卓生, 山崎裕司, 佐藤 厚 : 脳血管障害片麻痺患者における横断歩道を渡る速度に必要なバランス能力の目標値. 第 39 回国理学療法士学会, 高知県高知市, 2011. 11
- 内田良平, 中村憲正, 佐藤睦美, 境 隆弘 : 社会人アメリカンフットボール選手の下肢関節可動域及び膝周囲筋力についての検討. 第 21 回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 茨城県, 2010.11.
- 清田直恵, 藤原勝夫 : 高齢者における頸部前屈でのアンチサッケードトレーニングによる眼球運動, 脳電位および局所脳血流量の変化. 日本健康行動科学会第 9 回学術大会, 金沢, 2010.10.10.
- 前川真姫, 藤原勝夫, 矢口智恵, 清田直恵 : 高齢者の急速床移動による後方姿勢制御訓練に伴う随伴陰性変動の変化. 日本健康行動科学会第 9 回学術大会, 金沢, 2010.10.10.
- 藤原勝夫, 清田直恵 : 異なる初期立位位置での床移動姿勢外乱時の随伴陰性変動と準備姿勢筋活動. 日本健康行動科学会第 9 回学術大会, 金沢, 2010.10.10.
- 開田千鶴, 藤原勝夫, 清田直恵, 前田薫 : 後傾姿勢保持時における前方床移動外乱に向けた随伴陰性変動と姿勢筋の背景筋活動増加の関係. 日本健康行動科学会第 9 回学術大会, 金沢, 2010.10.10.
- Naoe Kiyota, Katsuo Fujiwara : Effects of anti-saccade training with neck flexion on eye movement performance, presaccadic potentials and prefrontal hemodynamics in the elderly. 29th International Congress of Clinical Neurophysiology, Kobe, Japan, 2010.10.29.
- Kenji Kunita, Katsuo Fujiwara, Naoe Kiyota, Takeo Kiyota, K. Anan : Investigation on shortening of anti-saccade reaction time associated with neck flexion by transcranial magnetic stimulation to the frontal eye field. 29th International Congress of Clinical Neurophysiology, Kobe, Japan, 2010.11.1.
- Katsuo Fujiwara, Naoe Kiyota : Contingent negative variation and activation of postural muscles before postural perturbation by backward floor translation at different initial

standing positions. Society for Neuroscience 40th Annual Meeting, San Diego, USA, 2010.11.15.

- Kenji Kunita, Katsuo Fujiwara, Naoe Kiyota, Takeo Kiyota, Koji. Anan : Investigation on shortening of anti-saccade reaction time related to maintaining the neck flexion by transcranial magnetic stimulation to the frontal eye field. Society for Neuroscience 40th Annual Meeting, San Diego, USA, 2010.11.17.
- 島 雅人, 奥田邦晴, 南野博紀ほか : 知的障害者短距離走選手における走動作の解析とその有用性について. 第 45 回日本理学療法学会大会, 岐阜, 2010.5.27.
- 片岡正教, 奥田邦晴, 島 雅人他 : 障害者陸上競技における動作解析と理学療法士の関わり -2009 アジアユースパラゲームズにおいて-. 第 45 回日本理学療法学会大会, 岐阜, 2010.5.29.
- 川崎 純, 奥田邦晴, 島 雅人他 : 聴覚障害スキー選手の滑走動作と平衡機能について. 第 45 回日本理学療法学会大会, 岐阜, 2010.5.29.
- 木村大輔, 奥田邦晴, 島 雅人他 : 車いすテニスプレーヤーのスポーツ障害について. 第 45 回日本理学療法学会大会, 岐阜, 2010.5.29.
- Kataoka M, Okuda K, Shima M, et al : A Role of Physical Therapist for Disabled Athletes in 2009 Asian Youth Para Games, 11th International Congress of the Aisa Confederation for Physical Therapy, bari, 2010. 10.10.
- Yasuda T, Okuda K, Shima M, et al : The Characteristic of Physical Function of Japanese Representative Deaf Athletes at Standing Position. 11th International Congress of the Aisa Confederation for Physical Therapy, bari, 2010. 10.10.
- 島 雅人, 奥田邦晴, 片岡正教他 : 知的障がいのあるスポーツ選手に対する身体機能検査の試みについて. 第 20 回日本障害者スポーツ学会, 佐賀, 2011.1.29.

【研究助成金】

- 藪中良彦 (分担研究者), 他 4 名 : 脳性麻痺児の生活機能スキルのデータベース作成に関する研究. 独立行政法人日本学術振興会 挑戦的萌芽研究
- 野村卓生 (分担研究) : 2 型糖尿病患者と健常者における下肢筋力/筋量比の比較検討, 研究代表者・田上光男, 労働者健康福祉機構労災病院間共同研究助成, 2010.
- 野村卓生 (分担研究) : 精神疾患患者における向精神薬の投与量が身体機能に及ぼす影響, 研究代表者・明崎禎輝, 平成 22 年度日本理学療法士協会研究助成, 2010.
- 佐藤睦美 (代表研究者) : 平成 22 年度科学研究費補助金 (基盤(C)) 前十字靭帯不全膝の荷重スポーツ動作における運動解析
- 佐藤睦美 (分担研究者) : 平成 22 年度科学研究費補助金 (基盤(C)) 可変ブレーキを用いた下肢荷重トレーニング機器の開発
- 清田直恵 (代表研究者) : 高齢者におけるアンチサックードトレーニングに及ぼす頸

部前屈姿勢の影響. 文部科学省若手研究 (B).

- 島 雅人 (分担研究者), 他 13 名: 摂食嚥下介助の有効性と安全確保の指針: 医療福祉現場の人材育成に e ラーニング応用, 産学連携による実践型人材育成事業—専門人材の基盤的教育推進プログラム—. 文部科学省研究拠点形成費等補助金.

【社会貢献】

1. 府・市等の委員会への参画活動一覧

- 石倉 隆: 倉敷脳卒中連携の会世話人.

2. 地域に密着した学習支援活動 (社会人向けの公開講座など) 一覧

- 石倉 隆: 理学療法士は Mr. Brain でなければならない. 大学出前講座, 尼崎小田高校, 2010.12.
- 野村卓生: 上級学校を知る医療リハビリテーション分野. 出前講座 1 日岡豊大学講師. 高知県立岡豊高校, 高知県南国市, 2011. 3.
出前講義. 豊島高校, 大阪府豊中市, 2010. 11.

【その他】

- 石倉 隆: 脳画像初学者の最初の 1 冊. 週間医学界新聞, 第 2914 号, 4, 2010.

【所属学会】

- 石倉 隆: 日本リハビリテーション医学会, 日本神経学会, 日本神経治療学会, 日本臨床神経生理学学会, Movement Disorder Society, 保健医療学学会 (機関誌編集委員長), 日本理学療法士協会 (学術集会査読者, 座長).
- 佐藤秀紀: 日本保健福祉学会 (理事), 日本保健福祉学会 (学術誌編集委員), 日本社会福祉学会 (査読委員), 日本老年社会科学学会 (査読委員)
- 洲崎俊男: 理学療法科学学会, 日本運動療学会, 日本理学療法士協会 (休会中)
- 境 隆弘: 一般社団法人アスリートケア (理事, 甲子園高校野球メディカルサポート事業), 日本理学療法士協会, 日本体力医学会, 日本臨床バイオメカニクス会, 保健医療学会 (編集委員)
- 藪中良彦: 日本理学療法士協会 (脳性麻痺診療ガイドライン策定委員), 大阪府理学療法士会 (障害児保健福祉部部長), 日本ボバース研究会, JICA 医療技術スタッフ錬成コース講師, 2011.1.28 及び 2011.2.4, Japan International Cooperation Agency 短期専門家, ミャンマーに 1 週間滞在し”Project on Strengthening of Rehabilitation”の活動に従事, 2011.1.6~1.13
- 野村卓生: 日本理学療法士協会 (専門理学療法士: 内部障害理学療法, 生活環境支援理学療法, 内部障害理学療法研究部会代謝班協力委員, 理学療法診療ガイドライ

ン代謝班作業部会作業委員，内部障害理学療法研究部会糖尿病研修会（大阪）事務局，第46回日本理学療法学術大会演題査読，第50回近畿理学療法学術大会演題査読，日本糖尿病療養指導士認定機構（編集委員会委員，日本糖尿病療養指導士），日本糖尿病学会，日本糖尿病協会，日本公衆衛生学会（日本公衆衛生学会学会認定専門家），日本衛生学会，日本産業衛生学会，日本職業災害医学会，American Public Health Association, International Commission on Occupational Health, 日本内分泌学会，日本呼吸ケアリハビリテーション学会，日本心臓リハビリテーション学会，日本行動療法学会，全国大学理学療法学研究会，理学療法の医学的基礎研究会，運動疫学研究会（編集委員会委員），保健医療学学会（編集委員会委員）

- 今井公一：日本理学療法士協会，被収容者に対する医療支援（大阪刑務所 医務部 2011. 4～），重度要介護者支援に関する啓発研修会（大分 2011. 6. 8. 11），4団体合同需要・供給ワーキング委員会 2011. 4～，理学療法の技術を学ぶ（県立広島大学 2011. 11.）
- 佐藤睦美：日本理学療法士協会（学術集会査読者，座長），日本ペイン・クリニック学会，日本体力医学会，日本臨床バイオメカニクス学会，関西テニス協会医事委員（メディカルチェック，大会サポート），一般社団法人アスリートケア（理事）
- 清田直恵：Society for Neuroscience，日本臨床神経生理学会，日本生理人類学会，日本健康行動科学学会，保健医療学学会，日本理学療法士協会
- 中平剛志：日本理学療法士協会，大阪府理学療法士会（学術局新人教育部部員）
- 島 雅人：日本理学療法士協会，大阪府理学療法士会（学術局新人教育部部員，大阪市北ブロック新人症例発表会運営委員），日本障害者スポーツ協会 日本パラリンピック委員会（平成22年度障害者競技スポーツ科学的サポート事業科学支援推進委員），スペシャルオリンピックス日本（バスケットボール認定コーチ，第5回夏季ナショナルゲーム・大阪大会実行委員会 競技・競技会場部会 競技会場運営委員会委員 MATP 担当，ヘルシー・アスリート・プログラム（HAP）大阪府理学療法士会会員として参加），一般社団法人アスリートケア，日本障害者スポーツ学会
- 二田梨江：日本理学療法士協会，保健医療学学会

【国際交流】

- 藪中良彦：Cheju Halla College（韓国）大学訪問受入れ，理学療法学専攻（教授1名，学生3名）作業療法学専攻（教授1名，学生3名）合計8名，2011.1.21, JICA 医療技術スタッフ錬成コース ミャンマー研修生受入れ，2011.1.28 及び 2011.2.4

【学位取得・研究業績に対する受賞】

- 佐藤秀紀：青森県立保健大学名誉教授，2010. 6
- 野村卓生：専門理学療法士（内部障害理学療法），2010. 4. 1.

専門理学療法士（生活環境支援理学療法），2010. 4. 1.

日本公衆衛生学会認定専門家，2010. 10. 26.

- 佐藤睦美: 専門理学療法士(運動器). 2010.4.1
- 清田直恵: 博士(医学), Effects of anti-saccade training with neck flexion on eye movement performance, presaccadic potentials and prefrontal hemodynamics in the elderly. 2010.12.31, 日本健康行動科学会第9回学術大会, 大会長優秀発表賞. 高齢者における頸部前屈でのアンチサッケードトレーニングによる眼球運動, 脳電位および局所脳血流量の変化. 2010.10.10.
- 中平剛志: 修士(保健福祉学). 関節固定後に最大可動域運動で生じる抵抗力とその要因の検討. 2011.3.17.
- 島 雅人: 修士(保健学). 知的障がい者のスポーツ活動と身体機能に関する研究 2011.3.